

要であつた、が今日では百姓も金が入用になつて来たことである。百姓は生産費の見直しがつかぬ、買ふものは高く賣るものは安くても賣らねばならぬ有様であるから増々貧乏になつて来た、その貧乏を何とかしようではないかと吾々が組合をつくるとあれは社会主義だと云ふ、然らば貧乏を中々ゆるには社会主義にならねければならぬと云ふ事になる、社会主義とは何か、これは色々有る共產主義もやはり社会主義である、中には世の中を暗くし或は一天萬上の天堂墜下までもなくせうとするもの、中止

九州同協會

福岡 常 青

物事は表と裏から見らねければならぬ、大阪城の大きさを石を見て立派なものだと感心して居るがあれは農民半割の結果だ、吾々の貯金保険貯金は農民の爲にはならず都會へ集中されて大資本家の事業を經營資金となりその結果農民生活を窮乏すると云ふ事になつて居る、こんな様に裏面があるから吾々はお互に目覚めて闘く

闘争して行かねばならぬ、今や資本家は行まづまつて居る、吾々農民労働者の闘争は國家を思ふ結果である、吾々は自分の生活條件の爲に組合を組織し小作米にしても地主で済む可きものでなく組合によつて決める可きものである、吾々は先づ生活條件の確立と土地の安定を計つて眞に農民の日本の實現の爲農民組合運動に邁進すべきである。

九州同協會

福岡 常 青

國家の經濟に重きをなすものは農民である、農民は國の寶だ、然るに農民は土地を有せず地主より勝手に取上げられて来たのである。重要な役割を持つ農民に完全に土地を與へる事は當然な事ではないか、農民は組織してこそ立派な國家になる、地主、資本家は個人主義で國家に何等益するところはないのである、吾々は組合に依つてこの地主、資本家に對抗せねばならぬ。そして吾々農民の腹を干させる期を法廷には手を振り合つて反對し永久